

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-86	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	現B331	精選現代文B 新訂版		

1. 編修の基本方針

- 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、総合的な国語力をはぐくむことができるよう配慮する。
- 思考力や想像力、認識力を伸ばし、感性や情緒をはぐくむことを重視し、進んで読書し、自らの読書生活を豊かにしていく態度が身につくよう配慮する。
- 教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、近代から現代まで、さまざまな内容、ジャンルの教材を幅広く取り上げる。
- 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 1 評論（一） ——広がる想像力 対話の精神／ミロのヴィーナス	- 自他の敬愛と協力を重んじ、社会の形成に主体的に参画するとともに、国際社会の発展に寄与する態度を養うことをねらいとし、他者対話し続けることの大切さを説いた「対話の精神」を収録した。(第3・5号) - 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことをねらいとし、ミロのヴィーナスについて論じた「ミロのヴィーナス」を収録した。(第1号)	pp. 10-25
2 小説（一） ——名作を読む（一） 山月記	想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の文学的伝統に接することができるよう配慮し、近代の名作「山月記」を収録した。(第1・5号)	pp. 26-39
3 評論（二） ——社会をとらえる 豊かさつながり／ 家族化するペット	自主・自立の精神を養い、主体的に社会の発展に寄与することをねらいとし、現代社会における豊かさや家族、ペットのあり方について考えさせる「豊かさつながり」「家族化するペット」を収録した。(第2・3号)	pp.40-57
4 詩 ——ことばの力 竹／蟬頃／樹下の二人／ 永訣の朝／I was born	想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、文語・口語合わせて5編の詩を収録した。(第1・5号)	pp.58-73
5 評論（三） ——人間と科学 食べ物を「はかる」／ 科学の現在を問う	理科的なテーマに親しみ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことをねらいとし、人間が発祥以来続けてきた「はかる」という行為について論じた「食べ物を『はかる』」、今後の科学者の社会の中でのあり方を問う「科学の現在を問う」を収録した。(第1号)	pp.74-91
6 小説（二） ——こころの交流 山椒魚／巨人の接待	豊かな情操と他者への想像力をはぐくむことをねらいとし、岩屋に閉じ込められた山椒魚と蛙の姿を描いた「山椒魚」、文学の巨人と通訳との交流を描いた「巨人の接待」を収録した。(第1・3号)	pp. 92-123

7 評論（四） ——メディアと情報 「考える葦」であり続ける／ 生命情報・社会情報・機械情報	・さまざまな情報の中から真理を求め、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとし、情報社会の中で考えることの重要性を説く『『考える葦』であり続ける』、情報社会における身体性の回復を論じた「生命情報・社会情報・機械情報」を収録した。（第1・3号）	pp. 124-139
8 評論（五） ——他者への視点 敬語への自覚、他者への自覚／ 分かち合う社会	・社会生活における他者とのコミュニケーションについて考えを深めることをねらいとし、他者との距離という視点から敬語について考察した「敬語への自覚、他者への自覚」、食事を分かち合う存在としての人間について論じた「分かち合う社会」を収録した。（第2・3号）	pp. 140-155
9 小説（三） ——名作を読む（二） ころこ	・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の文学的伝統に接することができるよう配慮し、近代の名作「ころこ」を収録した。（第1・5号）	pp. 156-191
10 評論（六） ——グローバルとローカル コミュニティから見た日本／ 世界は、いま—「多文化世界」 の構築	・伝統と文化を重んじ、国際社会の発展に寄与する態度を養うことをねらいとし、グローバル化の流れの中におけるコミュニティや文化のあり方について論じた「コミュニティから見た日本」「世界は、いま—『多文化世界』の構築」を収録した。（第5号）	pp. 192-213
11 近代の文章 ——日本語の歩み 漫罵／たけくらべ／ 参考 近代の文体	・幅広い知識と教養を身に付けるとともに、我が国の文章の伝統、変遷を理解することをねらいとし、近代の文語文「漫罵」「たけくらべ」および明治期のさまざまな文章を「近代の文体」として収録した。（第1・5号）	pp. 214-224
Ⅱ 1 評論（一） ——倫理と心理 「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ／ ころこは見える？	・豊かな情操を培うとともに、正義と責任、公共の精神などについて考えを深めることをねらいとし、他者に対して自分の能力を生かすことを義務として引き受ける精神のあり方を説く『『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ』、ころこと身体の関係性を論じた「ころこは見える？」を収録した。（第1・3号）	pp. 240-253
2 小説（一） ——虚構と象徴 赤い繭／美神	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、自分の家を探してさまよう男を象徴的に描いた「赤い繭」、R 博士と女神像の間の秘密を描いた「美神」を収録した。（第1号）	pp. 254-271
3 評論（二） ——文化と美 実体の美と状況の美／ 心に「海」を持って	・幅広い知識と教養を身に付けるとともに、伝統と文化を重んじ、国際社会の発展に寄与する態度を養うことをねらいとし、日本と西欧の美意識を比較して論じる「実体の美と状況の美」、異文明の異質性を意識することの重要性を説く「心に『海』を持って」を収録した。（第1・5号）	pp. 272-287
4 随想 ——思いを伝える 昔の光／浄瑠璃寺の春	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、生きものに刻まれた昔の光の痕跡を見ることの感動をつづった「昔の光」、妻と二人で浄瑠璃寺に行ったときの様子を描いた「浄瑠璃寺の春」を収録した。（第1号）	pp. 288-305
5 評論（三） ——社会を担う 政治を支える心構え／ 「である」と「する」こと	・自主及び自立の精神を養い、他者と協調し合いながら社会の形成に参画することをねらいとし、現代社会における一般市民の政治との向き合い方を説いた「政治を支える心構え」、「である」と「する」という視点から社会を論じた『『である』ことと『する』こと』を収録した。（第2・3号）	pp. 306-329
6 小説（二） ——ころこに触れる 檸檬／待つ	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、えたいのしれない不吉な塊を胸に抱く「私」を描いた「檸檬」、一人、駅で何かを待ち続ける女性を描いた「待つ」を収録した。（第1号）	pp. 330-347
7 評論（四） ——言語と世界 人を指す言葉—自称詞・対称詞 ・他称詞／ 猫は後悔するか	・言語についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、伝統や文化への理解を深めることをねらいとし、人を指す言葉に注目して、日本語や日本人の特性について論じた「人を指す言葉—自称詞・対称詞・他称詞」、言葉と世界の成り立ちの関係を説く「猫は後悔するか」を収録した。（第1・5号）	pp. 348-367

8 短歌・俳句 ——ことばを味わう 短歌 十三首／俳句 十五句	・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、幅広い作者による短歌を 13 首・俳句を 15 句収録した。(第 1・5 号)	pp. 368-375
9 評論（五） ——生命と環境 生物多様性の恩恵／ 地球システムの中の人間	・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとし、生物多様性の保全し活用することの重要性を説いた「生物多様性の恩恵」、生態系に対する人間の態度について考えさせる「地球システムの中の人間」を収録した。(第 4 号)	pp. 376-397
10 小説（三） ——名作を読む（三） 舞姫	・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の文学的伝統に接することができるよう配慮し、近代の名作「舞姫」を収録した。(第 1・5 号)	pp. 398-431
11 評論（六） ——時間と歴史 無常ということ／ 日本文化の三つの時間	・幅広い知識と教養を身に付けるとともに、我が国の伝統と文化を重んじる態度を養うことをねらいとし、生きた歴史の受け取り方を説いた「無常ということ」、古典をひきながら日本文化の三つの時間について論じた「日本文化の三つの時間」を収録した(第 1・5 号)	pp. 432-444

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・単元末9箇所文章中の読み比べやグラフの読み取り、調べ学習などの活動をととして、単元の内容やテーマについての理解を深めるコラム「思考と表現」を設置し、論理的思考力や表現力を養えるよう配慮した。さらに、同コラム内には単元やコラムの内容に関連する書籍を紹介する「広がる読書」を設け、読書に親しむ態度を育成できるよう工夫した。
- ・Ⅰ部とⅡ部との間に、主張や情報を吟味したり、自分の考えを効果的に表現したりする際に参照するための「豊かな言語活動のために」を設置した。
- ・巻末には評論などでよく取り上げられるテーマや語句について解説した「キーワード解説」を設置し、幅広い知識を身に付けられるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-86	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	現B331	精選現代文B 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、総合的な国語力をはぐくむことができるよう配慮した。

●構成

- 単元構成は教材のジャンルに配慮しつつ、各単元のねらいにもとづいたテーマ別の編成とした。
- I部とII部との間に、主張や情報を吟味したり、自分の考えを効果的に表現したりする際に参照するための「豊かな言語活動のために」を設置し、言語活動の際に参照できるようにした。

●教材選択にあたっての配慮

- 教材は、評価の定まっている基本的な作品や、現代の高校生が読むに値するテーマを追求した新鮮な作品、我が国の伝統的な言語文化への関心を深める作品をバランスよく配置した。
- 社会から要請されている論理的思考力を育てるため、とくに評論教材に質量ともに重点をおいた。
- 単元「近代の文章」を設け、明治期における文章の文体の変遷をまとめて取り上げた。
- 「豊かな言語活動のために」では、ポスターや小論文など実用的な表現にもふれられるよう配慮した。

●教材化の工夫

- 漢字・語彙の学習に役立つ「漢字」欄を見開きごとに配置。読み替えや同音異義語、対義語などの情報も充実させ、「学習のポイント」の「語句と漢字」欄とあわせて、漢字・語彙の学習に資するようにした。
- 評論などを読み解く際に大切な語句を「キーワード」として示した。巻末の「キーワード解説」とあわせて語彙力の育成に資するようにした。
- 生涯を通じた読書生活の充実に配慮し、各教材に「次の一冊」を配置し、読書への意欲を喚起するよう工夫した。
- 教材化にあたっては、生徒の興味・関心、学習意欲を喚起する工夫を施すとともに、学習の参考となる写真や図版などを豊富に提示した。

●言語活動

- 教材の末尾に、必要に応じて「話す・聞く」「書く」に関する設問を設け、言語活動を通じて総合的な言語能力を培うことができるよう配慮した。

●コラムの充実

- 単元末9箇所文章中の読み比べやグラフの読み取り、調べ学習などの活動をとおして、単元の内容やテーマについての理解を深めるコラム「思考と表現」を設置し、論理的思考力や表現力を養えるよう配慮した。さらに、同コラム内には単元やコラムの内容に関連する書籍を紹介する「広がる読書」を設け、読書に親しむ態度を育成できるよう工夫した。

●付録の充実

- 巻末には、「付録」として「日本近現代文学史年表」と、評論などでよく取り上げられるテーマや語句について解説した「キーワード解説」を設置し、幅広い知識を身に付けられるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									箇所	配当 授業 時数
	(1)指導事項					(2)言語活動例					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ		
Ⅰ											
対話の精神	○		○		○		○	○		pp. 10-17	
ミロのヴィーナス	○		○		○		○			pp. 18-24	
思考と表現1			○	○				○	○	p. 25	
山月記	○	○	○		○	○		○		pp. 26-38	
思考と表現2			○	○		○		○	○	p. 39	
豊かさとながら	○		○		○		○		○	pp. 40-48	
家族化するペット	○		○		○		○		○	pp. 49-56	
思考と表現3			○	○				○	○	p. 57	
竹		○			○	○		○		pp. 58-59	
蟬頃		○			○	○		○		pp. 60-61	
樹下の二人		○			○	○		○		pp. 62-65	
永訣の朝		○			○	○		○		pp. 66-70	
I was born		○			○	○		○		pp. 71-73	
食べ物を「はかる」	○		○		○		○			pp. 74-81	
科学の現在を問う	○		○		○		○		○	pp. 82-91	
山椒魚	○	○			○	○		○		pp. 92-103	
巨人の接待	○	○			○	○		○		pp. 104-123	
「考える葦」であり続ける	○		○		○		○		○	pp. 124-130	
生命情報・社会情報・機械情報	○		○		○		○		○	pp. 131-138	
思考と表現4			○	○				○	○	p. 139	
敬語への自覚、他者への自覚	○		○		○		○		○	pp. 140-145	
分かち合う社会	○				○			○		pp. 146-155	
こころ	○	○			○	○		○	○	pp. 156-190	
思考と表現5			○	○				○	○	p. 191	
コミュニティから見た日本	○				○		○			pp. 192-202	
世界は、いま	○				○		○		○	pp. 203-213	
漫罵	○	○			○			○		pp. 214-217	
たけくらべ	○	○			○	○		○		pp. 218-221	
近代の文体		○			○			○	○	pp. 222-224	
豊かな言語活動のために			○	○	○	○	○	○	○	pp. 226-238	
Ⅱ											
「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	○		○		○		○	○		pp. 240-245	
こころは見える？	○				○		○		○	pp. 246-252	
思考と表現6			○	○				○	○	p. 253	
赤い繭	○	○			○	○		○		pp. 254-260	
美神	○	○			○	○		○		pp. 261-271	
実体の美と状況の美	○		○		○		○		○	pp. 272-280	
心に「海」を持って	○				○		○		○	pp. 281-287	
昔の光	○	○			○	○		○		pp. 288-294	
浄瑠璃寺の春	○	○			○	○		○		pp. 295-305	
政治を支える心構え	○		○		○		○			pp. 306-314	
「である」ことと「する」こと	○		○		○		○		○	pp. 315-329	
檸檬	○	○			○	○		○		pp. 330-342	
待つ	○	○			○	○		○		pp. 343-347	
人を指す言葉	○			○	○		○		○	pp. 348-355	
猫は後悔するか	○	○			○		○			pp. 356-366	
思考と表現7			○	○				○	○	p. 367	
短歌十三首		○			○	○		○		pp. 368-371	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									箇所	配当 授業 時数
	(1)指導事項					(2)言語活動例					
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ		
俳句十五句		○			○	○		○		pp. 372-375	
生物多様性の恩恵	○		○	○	○		○		○	pp. 376-384	
地球システムの中の人間	○		○		○		○		○	pp. 385-396	
思考と表現8			○	○				○	○	p. 397	
舞姫	○	○	○		○	○		○		pp. 398-430	
思考と表現9			○	○	○			○	○	p. 431	
無常ということ	○	○	○		○	○	○			p. 432-438	
日本文化の三つの時間	○				○		○		○	pp. 439-444	
キーワード解説					○					pp. 455-463	